

完成した西館に整備された最新のがん放射線治療装置
＝羽島郡笠松町田代、松波総合病院



松波総合病院西館が竣工

最新のがん放射線治療装置導入

創立125周年

決意新たに

松波総合病院(羽島郡笠松町田代)の西館が完成し、15日に竣工式があった。最新式のがん放射線治療装置や生活習慣病の患者などに向けたフィットネスクラブを備え、地域医療体制のさらなる強化を図る。西館は鉄骨一部鉄筋コンクリート造り4階建てで、延べ床面積約6300平方メートル。総事業費は約45億円。厚生労働省の「地域がん

診療連携拠点病院」指定を受け、放射線治療装置「ラディザクト」を導入。腫瘍にピンポイントで照射し、患者の負担を軽減できる。フィットネスクラブでは疾病の治療や予防、手術後の回復を目的にした医療法に基づき施設として運用し、処方箋を出された患者は医師や理学療法士らのトレーニング指導も受けられる。式は創立125周年式典も兼ねて開かれ、関係者がテープカットして祝った。松波英寿理事長は「住民の

疾病治癒と健康増進という使命を達成すべく、まい進していく」と決意を新たにした。
(安井真由子)